

ふじのくに

グローバル人材

育成事業

成果報告

2018年度



ふじのくにグローバル人材育成基金で
若者や教職員の「海外での学び」を応援しています

静岡県教育委員会



ふじのくにグローバル人材育成基金の概要

グローバル化が急速に進展する中で、高校生をはじめとする若者の海外留学や研修等を通じた、「世界に目を向けながら地域社会の発展に貢献できる」人材の育成が求められています。

また、子どもたちの海外に対する知的好奇心を養うためには、国際感覚豊かな教職員による教育も重要です。

静岡県教育委員会では、2016年4月に「ふじのくにグローバル人材育成基金」を創設し、一人でも多くの高校生や教職員の「海外で学びたい」という希望を実現させるため支援しています。

国際感覚豊かな人材の育成

海外体験(留学)

高校生が意欲を持って、自ら進んで参加する留学の経費を支援します



グローバルハイスクール

特色のある先進的なグローバル教育を展開する指定校を支援します

教職員の海外研修

海外の教育機関等において、指導力や専門性を向上させるための研究に取り組む教職員を支援します

ものづくり県の時代を担う人材の育成

海外インターンシップ

県内企業の海外事業所等における就労体験事業を支援します



ものづくり世界大会

ものづくり等の世界大会に参加する高校生を支援します



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Sustainable Development Goals (SDGs) とは、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す、国際社会全体の開発目標です。経済・社会・環境をめぐる課題について、17の目標と169のターゲットが示されています。

県教育委員会の取組は、主に目標4「すべての人々への包括的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」に該当しています。

事業内容

2016年度～2020年度までの5年間で900人の高校生及び教職員の海外留学等を支援します。

	2016実績	2017実績	2018実績	2019以降(計画)
派遣人数	97人	230人	222人	200人
事業費	18,879千円	37,993千円	36,636千円	40,000千円

区分		内容	2018実績	2019計画
高校生の 海外体験 促進 (留学)	長期留学	海外の教育機関等で語学などの専門分野の留学を体験 【期間】1年程度 【上限】30万円	5人	5人
	県内大学と連携した留学	県内大学と連携して、大学が実施する各種留学・語学研修等に参加 (2018留学先) カルフォルニア州立サクラメント校、 ジョージタウン大学 【期間】1か月程度未満 【上限】30万円	29人 +引率3人	30人 +引率3人
	短期留学	学校、市町、NPO等の民間が実施する語学研修、ボランティア活動等に参加 【期間】1か月程度未満 【上限】30万円	22人	34人
教職員の海外研修		教職員が海外での教育機関等で専門分野や現代的な課題の研究等を実施 【期間】1か月程度未満 【上限】50万円	9人	10人
グローバル ハイスクール		学校の特色を生かした課題研究を中心に、海外の大学や研修機関等と連携してフィールドワーク等を実施する学校を指定 【指定期間】3年 【上限】300万円	3校112人 掛川西 日大三島 浜松開誠館	2校77人 浜松開誠館 藤枝西
海外 インターンシップ		○県内企業の海外工場における就労体験等を実施 (2018研修先：6社) 天野回漕店(中国)、ヤマハ発動機(台湾)、うなぎいも協同組合(台湾)、 臼井国際産業(タイ)、ジャトコ(タイ)、 河合楽器製作所(インドネシア) 【対象】専門高校等の生徒 【期間】国内(2日間) 海外就労体験(3泊4日) 【県実施】全額県負担	36人 +引率6人	30人 +引率6人
ものづくり等の 世界大会		ロボット競技等のものづくりに関する世界大会へ参加 【対象】専門高校等の生徒 【上限】30万円(国内開催は10万円)	—	5人
計			222人	200人

長期留学

静岡県立沼津東高等学校 2年
山崎 秀一郎



留学先：アメリカ合衆国



目的・応募理由

私は、主に以下の2点を目的に留学しました。

- ①日本に限定された自分の価値観を、留学という海外での長期間生活の中で見つめ直しながら、言語だけではなく心もより柔軟でより逞しい自分自身に成長させる。
- ②実際に日本から一歩踏み出し、「体験」し、視野も広げることで、今後の進んでいく道を選ぶ判断材料とし、帰国後学びを深め、将来より広く役に立つ人材になる礎とする。

留学を志しても、一人で成せるものではありません。親の負担を少しでも緩和させ、少しでも親孝行したいと思ったのも応募した正直な理由の一つです。また、留学中だけではなく、帰国後も基金事業の目的である「自らの国際化に高い意欲、関心を有し、将来国際的な役割を担える人材」にふさわしい自分であり続けられるよう行動し、実際に将来そのような人材になりたく、応募しました。

研修内容等

アメリカでの生活は日常も学校も日本とはまるで違いましたが、「これがアメリカだなあ!」と、違いを楽しもうとしました。

前半は学校の授業についていくことも必死でしたが、全力投球した結果、最後には成績優秀者にも選ばれました。学校の思い出も綴り切れぬほどある中で、学年末の5月に行われた「プロム」という学校行事最大のダンスパーティはかけがえない友達との最高の1日でした。



ホスト家族とも、そして学校生活でも「0から自分で自分の居場所を作ってきた!」という達成感を持って、帰国日を迎えることができました。アメリカに大切な家族ができたことは、この留学で得た宝物の一つです。

感想等

「自分で行動し、相手に働きかけていかなければ、何も現状は変わらない」ことを痛感し、以前よりは精神的にも強くなり、社交的にもなったと自分でも思います。

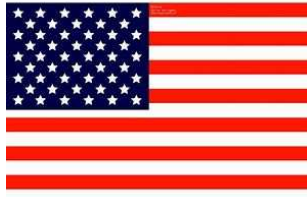
日本人も一人一人の意思をもっと出して、社会参加をすればより良い社会を作っていくのではないかと、少なくとも自分は今後そのように振る舞おうと思うようになりました。そして留学中、経済学を学びたいと考えるようにもなりました。

この留学で学んだことを活かし、新たに出会う価値観も柔軟に受け入れながら、よりよい社会になるために貢献できる人材の一人になれるよう一層努力を続けたいです。

このように多岐にわたり出会いと感動、気づきをくれたこの留学を応援して下さった周りの全ての皆様、そしてホスト家族に心より感謝しています。

県内大学と連携した留学

静岡県立掛川西高等学校 2年
鈴木 崇文



留学先：アメリカ合衆国



目的・応募理由

私は、国際的に活躍するために必要なことを自分なりに考えており、今回の留学でそれらを「漠然としたイメージ」から、知識や経験という「具体的なもの」へと昇華させたいと思いました。

私の考える「国際的に活躍するために必要な3つのこと」とは、①自分なりのアイデアを持つこと、②多様性を受け入れ、物事を多角的に見ること、③献身的に活動することです。

私は海外に留学し、将来海外で働こうと思っているので早いうちから国際感覚を身に付けたいと思っていました。また、政治学、経済学的にも有名で世界最難関大学の一つである、ジョージタウン大学で学ぶこともできるので、この企画は絶好のチャンスでした。また、大学の歴史も長く、時代と共に築かれたジョージタウン大学ならではの魅力に触れたかったからです。

研修内容等

大学では、午前は発音や文法などの基本的な授業をアクティブラーニングを通して学びました。与えられた話題について、自分の考えを英語で話す、とても本格的なものでした。また、大学院で学んでいる生徒と「人権」や「平等」についても話し合いました。

ある話題を論理的に読み解き、意見を主張するためには、時事問題や国際情勢などに対する関心を強く持ち、理解を深めることが必要だと感じました。自分の意見は表面だけで、話題を深くまで掘り下げていないことを痛感しました。

夜は大学内で行われるイベントに参加して他の国の生徒たちと交流しました。他のアジアの国々の生徒と自分の英語の実力差を痛感しました。それでも共通の話題で盛り上がったときはとても楽しく、不思議と会話が途切れることはありませんでした。



感想等

今回の留学を通して一番感じたことは、自分のちっぽけさと実力不足です。ここでこう話したいのに言葉が出てこない、上手く聞き取れないことが頻繁にありました。アメリカに行く前に学校内、国内で英語ができると思っていた自分が小さく思えました。

また、文化は国や地域によって異なるため、異文化理解の大切さも身に染みて感じました。ここでどう対応すれば、相手が喜ぶのか、怒るのかを見極めながらコミュニケーションを図り、国際化、多様化の中で活躍するためには、豊富な知識や経験が必要だとわかりました。

今回の留学のためにご支援をくださった企業、大学、県教育委員会の方々に深く感謝申し上げます。今回の留学は今後の人生において大きなターニングポイントになると思います。

短期留学

静岡県立焼津水産高等学校 2年
八木 涼子



留学先：ミクロネシア連邦



目的・応募理由

私は、将来、産婦人科の看護師として働きたいと思っています。ミクロネシアの人々は十分な仕事がない中でも幸せで心豊かな生活をしているという話を聞き、少子化や核家族が進む日本との違いや現状を知りたいと考え、今回応募しました。

そして、他国で生活することで文化の違いやライフスタイルを理解し、視野を広めたいと考えました。また、私は人見知りをしたり、やりたいと思ったことを諦めてしまったりすることがこれまで何度もあったので、今回の留学を通じて少しでも成長したいとも考えました。

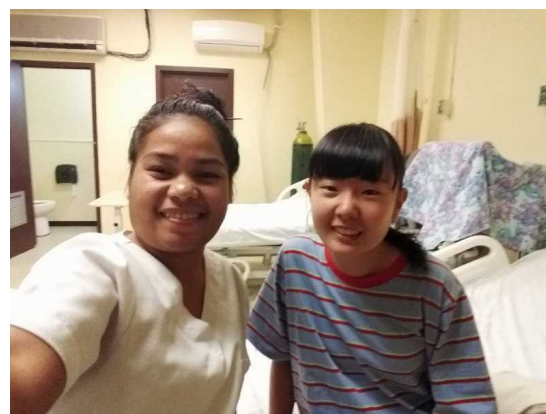
研修内容等

平日の7日間は、「ポンペイ州立病院」で眼科、皮膚科、産婦人科で研修しました。産婦人科では、妊婦検診やカルテの確認、病院内巡回、ベッドメイキングなどを行いました。

私はここで、日本とミクロネシアの違いを2つ発見しました。

一つは、日本では赤ちゃんを取り出すのに看護師とは別に助産師の資格が必要だけれど、ミクロネシアでは看護師の資格を持っていればできるところです。

もう一つは、日本では新生児室があるのに対して、ミクロネシアにはないところでした。しかし、新生児室がない代わりに、母親の前でケアを行っていたので母親にとっては、ずっと目の届くところにいるので安心できて良いなと思いました。



感想等

最初の3日間くらいは言葉の壁に苦労したけれど、ジェスチャーや短い英語で、言いたいことは伝えられるようにしようと調べたりコミュニケーションをとったりして、今までよりも成長できたと思います。赤ちゃんについて一から教わって、教科書で学ぶよりも体験しながら学ぶことができたからとても貴重な経験ができました。

今回留学したことで、本当に看護師になりたいのか改めて考えるきっかけになりました。この経験は全てがプラスになったと思います。

両親からは、看護という仕事を通して、言葉や文化の違い、人の優しさに触れながら過ごした時間は、自分の将来を考える上で貴重な経験になり、困難を乗り越え笑顔で帰国した娘に成長を感じてうれしく思っているとメッセージをもらいました。

私にこのような貴重な経験のチャンスを与えてくださった支援企業の皆様、他にも関係していただいた皆様に、心よりお礼を申し上げます。

短期留学

静岡県立川根高等学校 3年
滝尾 かのこ



留学先：インド



目的・応募理由

将来国際的なデザイナーになるために、プログラミングの技能を身に付け、少しでも多くの学習や文化を学び、必要な論理的思考を鍛えたい、異文化に触れ、知見・価値観の幅を広めたいと考えました。

また、以前遠隔通信システムを用いてゾーホーユニバーシティの方々と交流した際、学生の積極的な姿勢に感動し、刺激的な環境で学びたいと考えました。

研修内容等

ゾーホーユニバーシティでは、特にプログラミングと英語の授業が印象に残っています。最初はプログラミングの専門用語やその組み合わせから始め、練習を重ね徐々に慣れてきたところで、アニメーションのプログラム作りにも挑戦しました。

習得した知識を生かし新しい物を制作することで、さらにアイデアが広がり技術や思考力を鍛えることができました。

研修の終盤には、今までに習得した技術を駆使したオリジナルのアニメーションや複雑なゲームをしました。この経験は、デザイナーを目指す私にとって表現の幅を広める良い機会となりました。

また、英語の授業ではアウトプット活動が多く、最初は四苦八苦しながらもインドの学生の方々とコミュニケーションを図ることで、日々英語力が向上していることを感じることができました。研修先では、日本の紹介や研修内容のまとめ、近所の小学校での発表などプレゼンテーションをする機会が複数回あり、より相手に伝わることを重視し、自信を持って発表することができるようになりました。研修中に何度もアウトプットすることで、人に伝える力や表現力をさらに鍛えることができました。



感想等

学習面だけでなく、文化の面でも新しいことを学ぶことができました。現地の方々が自宅に招待してくださった際は、インドの食や伝統的な衣装、結婚などの異文化に触れることができました。

異文化に触れ様々な経験をすることで、自分の持つ知見や価値観の幅を広めることができました。現地で購入したサリーは、日本に帰国したあとも愛用しています。

インドで様々な経験をすることで自信につながり、研修後は何事にも自分から取り組むようになりました。学校生活では、授業やクラスで指名される前に行動するように努め、何事にも前向きに捉え行動するよう心掛けています。

そして、この研修のための事前学習として取り組んだオンライン英会話は現在も続けており、研修後も少しずつ英語力が身に付いていると実感しています。また、今回の研修に携わってくださった多くの方々に感謝し、自ら行動し発信できるデザイナーを目指し日々努力したいです。

教職員海外研修

静岡県立静岡北特別支援学校
深澤 雄紀



研修先：アメリカ合衆国



目的・応募理由

子供たちは、自分の心身の状態が整い、かつ学習課題が適切なときに、より能動的な学習者として学んでいきます。しかし、教育的ニーズのある子供たちは、心と身体の状態を適切な状態に整える力、すなわち情動調整が苦手であると指摘され、それが学習上、生活上の困難の一つになっています。教育現場においても情動調整の支援の必要性が高まり、実践が始まってきています。

本研修では、2006年にアメリカで開発された自閉症児の社会コミュニケーションと情動調整の力を高めるための包括的教育的アプローチであるSCERTS（サーツ）モデルを教育課程に取り入れている学校の視察を通して、子供たち一人一人の日々の学びの充実を目指すとともに、日本の特別支援教育での活用について考えました。

研修内容等

本研修のキーワードは「能動的な参加（アクティブ・エンゲージメント）」と「情動調整」でした。

授業では子供たちの能動的な参加を支えることを大切にし、子供たちの好きな音楽やダンスを取入れ、座学と活動の切り替えの工夫を行うなど、子供たち一人一人の集中や学びに向かう情動の状態を教師は敏感に観察し、柔軟な支援をしていました。

1日の教育活動の中で、いつ、どのような調整方法を行うのかを教師と専門職（作業療法士と言語聴覚士）が連携し、I E P（個別の教育計画）に情動調整の支援計画が策定されていました。

また、能動的な参加の評価方法について、大学の研究機関と連携し、教室の中での活動をオンタイムで捉えて評価する指標を活用し、ビデオ分析することで具体的な数字で評価を行っていました。



感想等

本研修では、SCERTSモデルを教育課程に取り入れている先進的な取組を行っている学校を視察し、特に、情動調整の支援を喫緊の課題と捉え、心理学などの研究成果を活用し、教育実践につなげているアメリカの先生方の学ぶ姿勢に感銘を受けました。また、日本の特別支援教育の良さを再確認することができました。

能動的な参加は日本でも従来から目指していることであり、情動調整の支援は、特に知的障害、自閉症といった教育的ニーズのある子供たちの自立活動の充実につながると考えます。今後は、新学習指導要領に対応した、教育的ニーズのある子供たちの育成すべき資質・能力を高める授業づくりが一層求められます。教育的ニーズのある子供たちの資質・能力を育てるために、学びの土台である情動調整の支援の実践事例の蓄積と教育課程への位置付けを追究していきたいです。

このような充実した研修の機会をいただいた関係各位の皆様に感謝申し上げます。

海外インターンシップ

静岡県立浜松工業高等学校 2年
森泉 優大



研修先：インドネシア



目的・応募理由

海外進出している企業へ実際に行き、現地の方々とのコミュニケーションの取り方や日本でできることと海外でできること等の違いを学び、将来につなげられるグローバルな視点を養いたいと考えました。

一度海外に行ったことがあり、カルチャーショックを経験しました。それから、もっとたくさんの国へ行って文化や人と交流したいと思うようになりました。

更に、高校生海外インターンシップは国内と海外の企業研修があり、企業の方にお話を聞くことや工場見学でモノづくりを実際に見ることができるので応募しました。

研修内容等

ジャカルタ市街から車で2時間ほどのところにある工業団地のPT.Kawai Indonesiaで研修を行いました。工場の規模は日本とあまり変わらず、検品、調律などの作業工程もほぼ同じでした。

工場では、検品と棚卸しの作業体験をしました。検品作業は、傷かと思ったものがただの埃だったり、傷を見逃してしまわないようにずっと集中していたため、とても疲れました。

少しの傷があるだけでピアノを出荷することができないと聞き、とても質の良いピアノを作っていると感じました。棚卸しでは、パーツを傷つけないように移動させるのが大変でした。



一番驚いたことは、工場のリーダーの方々ほとんどが日本語を話せたことです。作業で用いられる用語も日本語でした。会社紹介や質疑応答等すべて日本語で受け答えしてくださり、驚きと優しさを感じました。

最後には、工場働いている方々で結成された合唱団に、インドネシア国歌と社歌を日本語で歌っていただき、とても感動しました。

感想等

インドネシアに実際に行ったことで、日本にいただけでは分からない発見があり、日本の良さを再発見することができました。現地の人と触れ合うことでその国のことが分かったりするので、今回の研修で人と関わることの大切さを実感できました。これからも人との関係性を大切にしてコミュニケーション力を高めていきたいと思います。

支援企業・団体一覧 (2016年4月～2019年3月)



● 公益財団法人 ●

ほづも教育研究奨励会

明産株式会社

Dream with you.



静岡銀行

SHIZUOKA BANK



清水銀行



スルガ銀行

一般社団法人

静岡県信用金庫協会

国際ソロプチミスト駿河

静岡県遊技業協同組合



Z-KAI Group



公益財団法人

日本教育公務員弘済会
静岡支部



清水埠頭株式会社



田子の浦埠頭株式会社

Jatco

7007イル 日興製薬株式会社

富士トラック株式会社

有限会社
メディカルアイカイ



街にいろどりを。人にときめきを。



清水コンテナターミナル
株式会社

沼津埠頭株式会社

浜松バス株式会社



松葉倉庫
株式会社

百年住宅

静岡県高等学校長協会／静岡県高等学校等副校長・教頭会／静岡県公立高等学校事務職員協会
／学校関係団体（同窓会、後援会等）／ふじのくに応援寄附者（個人支援者）